

命を守り 丈夫な体と 人間らしい感性を育てる

～私たちはかわいがりよりそいます～



なでしこ保育園
第二なでしここども園
第三なでしこ保育園
家庭保育室わらべ

<https://kodomo.ed.jp/>



【園別年齢別利用人数内訳となでしこ独自の進級システム】

どちらの園に入園されても保育内容は同じです。大きな行事は全園で行います

図書館併設
なでしこの中心的機能の園

なでしこ保育園

クラス	定員150
0歳児	18
1歳児	24
2歳児	32
年少	38
年中	38

第二へ異動

第一・第三・わらべのお子様も
最後はここで過ごし卒園します

第二なでしここども園

定員206		
クラス	2・3号	1号
0歳児	17	
1歳児	18	
2歳児(満3歳児)	20	
年少	22	5
年中	42	5
年長	72	5

《全員揃って第二を卒園》

小さい子中心の家庭的な
雰囲気のある園

第三なでしこ保育園

クラス	定員60
0歳児	8
1歳児	16
2歳児	18
年少	18

第二へ異動

*家庭保育室わらべのお子様は
年少に上がる時にこども園へ異動



理事長・統括園長 門倉文子

なでしこ保育園
園長 高田美華
熊谷市柿沼 921-9
☎048-521-5698

第二なでしここども園
園長 大谷光代
熊谷市今井 377
☎048-525-3761

第三なでしこ保育園
園長 伊藤千春
熊谷市円光 2-10-10
☎048-520-6112

なでしこ保育園 保育の方針

《命を守る》

安全に注意し、食事・睡眠・清潔等、一人一人に即した養護を応答的に行うことで健やかな心と体を育み、命を守る基本とする

《応答的な関わりを通じた情緒の安定》

甘えを十分受け止め、保育士との肌の触れ合いや応答的な関わりを通して情緒の安定をはかる（甘えなしに自立なし）

《挑戦する意欲の見守り》

乳児期からの保育の積み重ねにより育まれた基本的信頼感をもとに、安心感のなかで挑戦と失敗を繰り返す意欲を支える

《発達獲得の機会の保障》

言葉の獲得や運動機能等、子どもの発達過程の臨界期を鑑み発達に見合った活動ができる機会を増やす

《身辺自立からの自信の獲得》

身辺自立を通して子どもの自己選択を促しつつ自信を育む

《絵本を活かす》

年齢や発達に見合った絵本を選び、読み合い・読み聞かせを十分に行う中で、コミュニケーション基盤となる想像力や生きる力を育てる

《言葉でのやりとりを大切に》

思いを言葉で表現し、相手の言葉を聞こうとする気持ちを育てる

《物事のよし悪しを伝える》

規範能力や思考力の育つ4～5歳を見据え、話を聞いて物事のよし悪しを判断し、自分で考えて行動できるように支える

《友達との関わりのおもしろさを伝える》

友達との関わりや遊び、行事を通して楽しい体験をたくさんし、仲間とともに過ごすおもしろさを味わえるようにする

《一人一人がみな大切なひとり》

人には違いがあることを知り、障がいや国籍、文化の違いを受け入れる環境を整え、相互理解への道筋を整える

【育てたい子どもの姿】

- 1 思いやりのある子
- 2 みんなと仲良く遊べる子
- 3 意欲のある子
- 4 話の聞ける子
- 5 自分の気持ちを伝えられる子
- 6 考えて行動できる子

子どもの成長における獲得順序に並び替えると

- 1 自分の気持ちを伝えられる子
- 2 意欲のある子
- 3 みんなと仲良く遊べる子
- 4 話の聞ける子
- 5 考えて行動できる子
- 6 思いやりのある子

この目標を園の生活でどのように獲得していくと考えているか（次頁以降）

「私たちは子どもの育ちにどうよりそうのか」

時代の移り変わりの中で育つ子どもたちの姿、その背景にある保護者の様子を見ながら、日々子どもたちとかわる保育の現場は、社会の中で非常に重要な役割を託されています。「今の保育で良いのか」を常に考え、確認しながら、これまで保育に携わってまいりました。

乳幼児期は「感性」の土台作りとして大切な時間です。身体感覚も欲求や感情も、すべての感性は、幼い時から子どもが大切にされ、おとなとの応答的な相互作用を幾重にも積み重ねる中で育まれます。感性は将来、その子の人間らしい感性、すなわち「人間性」になります。

私たちは、子どもの持っている力を伸ばすためには、特定の人との愛着関係の上に「他者を、自分を信じる心」を育てなくてはならないと肌で感じています。それは現在の保育園に課せられた使命の一つ、といっても過言ではないかもしれません。

なでしこ保育園では、0・1・2歳児（未満児）クラスの保育を「かわいがり保育」、年少・年中・年長（以上児）クラスの保育を「よりそい保育」と呼んでいます。

「かわいがり保育」では、一人一人の子どもに1対1で向き合い、甘えを受容し、自己主張を認めます。これによって、自分の存在を確認し、自分を受け入れてくれる人がいるという安心感から「他者を信じる心」が育まれると信じています。

「よりそい保育」では、子どもの好奇心と挑戦を尊重し、おとなの共感的な支援と励ましを数多く積み重ねることを繰り返します。これによって、挫折や不満、悔しさを抱えながらもそれを乗り越えることのできる「自分を信じる心」が育まれるものと信じています。

社会福祉法人なでしこ会 理事長 門倉文子
『よりそい保育』はじめにより抜粋 / 大修館書店

「甘えさせること」は成長の大切な栄養素

「かわいがり保育」は「受容」から全てが始まります。保育所は集団保育ですが、私たちの保育の基本は「1対1」にあると考えています。特に、0～2歳児の時期に気持ちをしっかり「受け止め」「甘えさせる」ことの大切さは、時に誤解を生むこともあります。多くの大人が今、もう一度考え直さねばならないことではないかと思えます。

甘えさせることは、子どもをダメになどしません。それどころか、小さい頃に甘えを受け止めてもらえなかったことの方が、その後の育ちに大きな影を落とすことになりかねません。大人に優しく抱っこされ「人は優しいもの」と感じ、自分の発したことが、要求したことに応じてもらうと、赤ちゃんは人を信じるできるようになります。そして自分は大切な存在である、と感じられるようになります。子どもの理にかなわない言い分を受け入れることに対して、おとなは「甘えている」「甘えはよくない」という印象を受けるのかもしれませんが、しかし、子どもはその理にかなわないことを「何としても聞いてほしい」と言っているのではないのでしょうか。もしかしたらそれは「こっちを向いてほしい」と言っているのではないのでしょうか。

甘えられて自分をさらけ出せるおとなが保護者以外に存在すること。それが保育所の0～2歳児保育の意義であると、痛切に感じています。

かわいがりからよりそいへ

0～2歳児クラスの「かわいがり保育」においては、子ども一人一人をじっくり知り、かわかることを大切にします。ですので、クラスや集団ということはひとまず蚊帳の外において考えます。

ところが年少になると、年相応の発達として「集団の中の一人として行動できる子ども」という視点が登場します。さらに年少以上は「クラス単位での成長」も、一つのものさしとして持つようになります。もちろん、子ども一人一人の成長は今まで通り大切な指標ですが、そこに集団として「この年齢児クラスはここまでがんばろう」という、クラスとしての目標が加わってきます。

年少・年中・年長以上児は、「子ども一人一人の成長」と「集団の中での子どもの成長」と「集団そのものの成長」の3つに焦点が当たります。子ども一人だけを見てかわいがる直接的なものではなく、子ども自身の成長力に期待して、状況に応じて適切なサポートをするという、まさに「よりそい」の姿勢が必要になるのです。

担当性 おんぶ・抱っこ

凡例 保育園の取組み 保育目標の目安

2~3 か月

- 生理的欲求が満たされ、安定した生活リズムで過ごす
- 一日 24 時間を視野に入れ、愛着の形成をできるように応答的にかかわる
- 表情が豊かになり声（喃語）が出る
- 子どもの発する声に応じてあげながら発声を促し、やりとりをする

4~6 か月

- 寝返りをできるようにし、玩具に手を伸ばしてつかむ
- うつ伏せにして胸の下に丸め他バスタオルを置いて首を動かしやすいようにしたり、寝返りをしやすいように背中を支えて回転させてあげる
- 知らない人をじっと見て、母親などと他の人を見分けられるようになる
- 目を見て笑顔でゆったりと声をかけながら、やさしくスキンシップをとって安心して過ごせるようにする

自分の気持ちを伝えられる子の芽生え

7 か月~1 歳

- 身振り、発声、喃語などで自分の欲求を表現するようになる
- 身振りや物と言葉がつながるように応答する。はっきりとわかりやすい言葉で話しかけ、言葉と動作、物を結びつけていく
- 意思表示がはっきりしてきて喜怒哀楽を思い切り表現するようになる
- いつでもそばで見守り、困った時には助けてくれるという安心感を持たせる。子どもの気持ちに共感したり代弁する
- 自分の名前がわかり、呼ばれると笑ったり振り向いたり、身振りで反応する
- 保育士が仲立ちとなって子どもの名前を読んだり、やりとりをしながら、他の子どもの存在を知らせ、つながりを持たせる
- お座り→ハイハイ→つかまり立ち→伝い歩き→バランスをとりながら一人で立つ
- 安全な環境を用意し一人一人を十分に注意して見守ったり、できた時にはたくさん褒めたり一緒に喜んでくれる。手押し車を用意する

わらべ歌

おんぶ・抱っこ

絵本

1 歳前半

- 生理的欲求が満たされ、安定した生活が送れる
- 子どもの気持ちを受容し、応答的にかかわる
- 友だちと玩具の取り合いをする
- 子どもの気持ちを代弁しながら折り合いを探していく。喘みつきやひっかきが出ないよう気をつける
- 初語が出てくる（パパ、ママ、マンマなど）
- 子どもの気持ちによりそった言葉を返し、ゆったりした雰囲気なかで会話を楽しむ
- 力の加減が難しいが、細かい物をつまむことができる
- 指先を使う玩具を用意し、楽しめるようにする
- 歩き始める
- 歩く周辺に危険がないように環境を整え、歩くことを楽しめるようにする
- 自分の要求を表情、動作、単語で表す（1歳前半）。身振りや片言で周囲にさまざまな要求を表現しようとする（1歳後半）。
- 安心できる環境の中で自分の気持ちを受け止めてもらいながら保育士とやりとりをし、人とかかわることの楽しさを味わえるようにする

意欲のぶる子の芽生え

1 歳後半

- 喘みつき、ひっかく、押すなどのトラブルが出てくる
- できるだけ少人数のグループで過ごす。玩具をたくさん用意する。子どもの気持ちに共感しそれぞれの思いを代弁し「いけないこと」はその場でしっかりと伝える
- 小走りができる
- まだまだ転びやすいのでとさしに支えられるよう、気を配る。走れることの喜びを意欲に繋げる
- 二語文が出始める
- 発語そのものを子どもが楽しめるようにし、覚えた言葉を使う場を多く持たせるようにする。子どものつぶやきに耳を傾け、気持ちに共感し代弁したりする
- 自分の名前が呼ばれると返事をする
- 子どもの名前を呼ぶ時はその子の目を見て声をかけ、自分が呼ばれていることを気づかせる。また保育士が手本を見せたり、できた時はたくさん褒める
- 保育士の模倣をして体を動かす
- 保育士がピアノを弾いたり歌を歌ったりして楽しい雰囲気を作っていく。子どもの知っている歌や簡単な歌を選び、楽しさを伝える
- 「だだこね」「いやいや」が激しくなる
- 大人はどしどし構えて気持ちを受け止め、子どもの気持ちを代弁しながら根気強く付き合う

わらべ歌

ゆるやかな担当性

みんなと仲良く遊べる子の芽生え

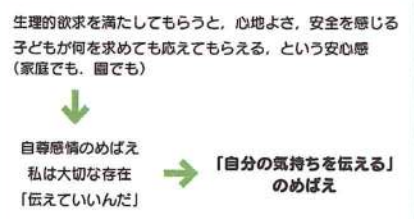
必要に応じた担当性

絵本

やりとり遊び

2 歳

- 簡単な身のまわりのことを自分でやってみようとする
- できたことを褒めたり、自分でしようとする気持ちを認め、できないことをさりげなく手伝いながら「自分でできた」「最後までやろう」とする気持ちを感じられるようにする
- 生き物に興味を持つ
- カニやカブトムシなど簡単な昆虫を飼育するようにしたり、庭で一緒に虫探しをしたりする
- 自分の要求を二語分て伝えたり、会話をまねしてしゃべろうとする。また簡単なあいさつが言える
- 言葉数の差が多い年齢なので、一人一人に合った働きかけをし、相手とコミュニケーションがとれる喜びが感じられるようにする
- 自己主張が強くなる
- この時期は特に自己主張が見られるが、この年齢の特徴だと理解するとともに、玩具を十分用意したり小グループにする等、遊ぶ環境を工夫し、必要でないトラブルは避けるようにする
- ぶら下がる・立って階段を上り下りする・両足で跳ねる・歩行が安定する
- 危険がないように見守る、一人一人の発達を見極めて日々の保育の中にも意図的に取り込む。危険の内容を見守る
- 保育士の歌っている歌を聞いて、口ずさんだりする
- 季節に合った歌などを綺麗な声で歌ってあげたり楽器を使った音遊びなども一緒に楽しめるようにする
- 音楽に合わせて体を動かしたり歌を歌って楽しむ
- 身近な動物や乗り物になりきって体を動かしたり、音の高低を感じて動けるように子どもに合わせてピアノを弾いたりして楽しめるようにする（リトミック遊び）
- 「これなに？」と質問が多くなる
- 子どもの質問に対し瞬時に答えられない時は「なんだと思う？」と聞いたり、「一緒に調べてみよう」と好奇心とさらなる興味につながる工夫をする



0 歳児担当者の保育の姿勢
全面受容 愛着形成

凡例 子どもの姿 保育士のかかわり

コミュニケーションツールとしての絵本

オムツ替え、授乳、抱っこ、おんぶ、手遊び…… すべて肌を通して気持ちを伝え合う

「応答的な肌触れ合い」の時期

保育目標 0 歳児 個人差に応じた生理的欲求を十分満たし、安定した応答的な生活の中で愛着関係を築き、情緒を安定させる



1 歳児担当者の保育の姿勢
甘えの受容 1対1でのかかわり

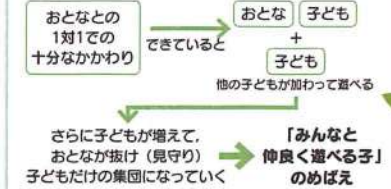
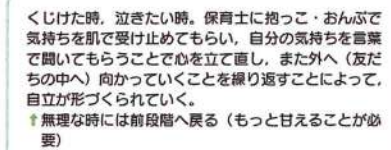
「によきっ」

絵本の読み合い

受け止めてもらって、そのつど応えてもらう 甘えを十分に受け止めてもらうの積み重ね

「応答的な手助け」の時期

保育目標 1 歳児 探索活動を十分し、周囲の、や物への興味関心を広げ意欲へつなげる



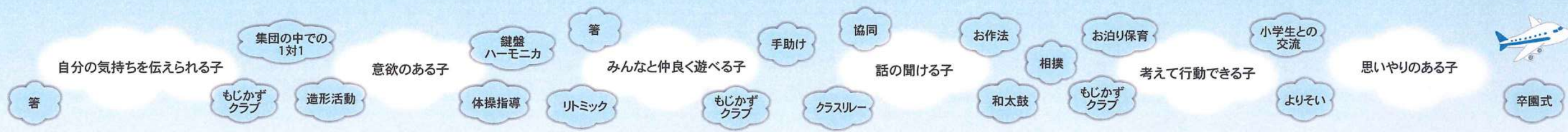
2 歳児担当者の保育の姿勢
甘えの受容 自己主張の受容

「できた！」

絵本の読み合いから読み聞かせへ

「応答的な伴走」の時期

保育目標 2 歳児 喜怒哀楽を十分表現でき、象徴機能や観察力を発揮して遊びを広げることができる



3歳

- 身のまわりのことを手伝ってもらいながら自分でできるようになる
- ちょっとしたごほうび（シール、花マルなど）、わかりやすい目標を用意する。やり方や手順を写真で示し、子どもたちと確認しながら進める
- 自分の気持ちを少しずつコントロールできるようになってくる
- 子どもの気持ち（思い）を受け止め、少しづつがまんできるように伝えていく
- 自分の好きな遊びを見つけて楽しむ
- 遊び込める環境をつくる
- 気の合う友だちと好きな遊びを通してやりとりごっこ遊びを楽しむ
- 保育士が仲立ちとなり友だちと一緒に遊んだりかわるごっこ遊びの楽しさを伝えていく
- 相手の気持ちに少しずつ気づくようになる
- 相手にも思いがあることを伝えていく（代弁したり、話を聞いて整理することで）
- 友だち関係が広がってくる
- 席やグループ決めの時、子どもの個性や特性を見極め、より良い友だち関係を作れるようになる

4歳

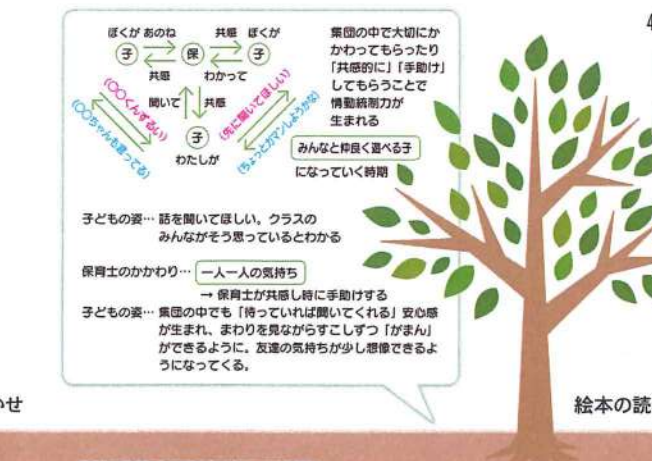
- 自分の思いを伝えたり、相手の気持ちに気付けるようになる
- 子どもが伝えようとしている時は、耳を傾け話を聞く。相手の思いに気付けるような言葉かけをしていく
- 人の話を聞く
- 話を聞くことの大切さを伝え、子どもが興味を持つような話し方を工夫する
- 正しい箸の持ち方を知り、こぼさず食べる
- 正しい箸の持ち方を家庭と協同して教え、こぼしたら自分で拭くよう促す
- 基本的な生活習慣がわかり、自分でできることが増える
- 自分でやるとうとする姿を見守り、できないことは必要に応じて手助けする
- お手伝いや当番の仕事を喜んでやる
- やり方を教え、手伝いができたことを褒める。できない時は一緒にやってみる
- 保育士や友だちと一緒にルールを守って遊ぶ
- ルールのある遊びを繰り返し一緒に経験させながら楽しさを味わえるようになる

5歳

- 集団（クラス）としての意識が出てくる
- 一人一人に責任や役割を与え、頼りにしたり頼めたりしながら意識を高め、クラス単位での活動を多く取り入れる
- 一つの目標に向かって一緒に頑張ることができる
- 「みんなで一緒に頑張ることの心地よさや大切さ」を伝え、意欲を持たせる
- 自分の思いを言葉で伝える
- 子どもの話を聞く、子どもの思いを汲み取る。伝えられない子に対しては保育士が代弁し、言葉を引き出す
- 人の役に立つことを嬉しく思う
- 当番活動など役割を作り、子どもがわかりやすく楽しく活動することを通して自信を持たせるようにする
- 話を聞いて理解し行動する
- 指示をわかりやすく伝え、理解していない子には個別に対応していく
- 物事を自分なりに考えて善し悪しを判断したり、相手を批判したりする力がめばえる
- 自分なりに考えたことについてははっきり褒め、一方で批判したら友だちがどう感じるかも主観を交えず伝える

6歳

- 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもって生活できる
- 自分でできたことを認め、次にすべきことを自ら考えて行動できるようにする
- 友だちのがんばりに共感し、励ますことができる
- 友だちの頑張りに気付けたことを認め、仲間との一体感を感じられるような活動を増やす
- 遊びの中で数や文字を理解していく
- 数や文字を意識して生活の中に取り入れていく
- 仲間の意見を尊重し、役割分担させたり協調して遊びを発展させる
- 一人一人が自分の思いを言葉で表現したり、仲間同士でルールを作ったり、遊びを工夫できるようにする
- 就学に向けて期待感に胸を膨らませる
- 小学校生活へスムーズに移行できるよう、家庭にも働きかけ丁寧にかかわる



「応答的な見守り」の時期

保育目標 **3歳児**

友だちとのかわりの中で、保育士の仲立ちにより相手の気持ちに気づき共感できる

「共感的な手助け」の時期

保育目標 **4歳児**

友だちや集団での遊びを通して、他人の存在や立場を知り、思いを共有し合い解決しようとする。

「共感的な伴走」の時期

保育目標 **5歳児**

自分の気持ちを言葉で表現できるようになり、簡単なルールや決まりを守りながら友だち関係を築き集団行動ができる

「共感的な見守り」の時期

保育目標 **6歳児**

生活や遊びの中で一つの目標に向かって力を合わせて活動し、達成感や充実感を味わう相手の気持ちを察したり自分で考えて判断する力を養う

かわいがりからよりそいへの移行期（2歳児クラス～年少クラス）

年少・年中・年長児 よりそい保育

【保育内容】

入園すると親から離れて園で長時間生活することになりますので、一人一人の気持ちを大切に不安な気持ちを受け止め、心の安定を図ることを第一に考え安心して楽しい園生活を過ごせるよう心がけています。乳幼児期の心の安定が人間として社会生活を送る為の土台となると考えています。

『安全保育』

命を守るという使命をまず第一に考え、園舎内外の安全管理については十分注意を払っています。しかし子どもは発達に伴い活動も活発になるので、まったく危険のない生活を保障するのは難しいことです。職員全員で力を合わせ、事故やケガが最小限になるよう心がけていますが防げない事故やケガもあります事をご理解下さい。

『健康管理』

- ① 内科健診（年2回）、歯科健診、検尿を行っています。
- ② 身体測定、視力検査、歯磨き指導など年齢に合わせて看護師が行っています。
- ③ 各園の看護師が園全体の健康・衛生管理の担当として、園医と連携をとりながら活動しています。
- ④ 病児保育は行っていません。病後は、本人の健康状態を優先に考えて担任や看護師と連携をとりながら保育しています。
- ⑤ お昼寝
0～年少児は年間を通して、年中児は前期までお昼寝をします。年長児は年間を通しお昼寝はしませんが一人一人の様子にあわせ長時間保育の中で体を休める時間を設けています。

『給食』

乳幼児期の食事は子どもにとって楽しみでもあり、咀嚼等を身に付ける大切な時期でもあります。また何といたって食生活は身体づくりの基礎ですので、食育には重きを置き保育を進めています。昼食とおやつは手作りで豊富なメニューが用意できるよう管理栄養士を中心に担当者で検討し毎月献立を作成し家庭へも配布しています。

〈0～1歳児〉

完全給食ですが、家庭と歩みを合わせながら一人一人の状況を鑑み、ミルク・離乳食を用意し普通食へと移行していきます。おやつは午前と午後の2回用意します。

〈2歳児〉

完全給食で、おやつは午前と午後の2回用意します。

〈年少・年中・年長児〉

完全給食で、おやつは午後1回用意します。給食費を集金いたします（金額は別紙参照）。

『規範能力の育成』

幼児期に物事の善悪を身につけさせることは、人間として大切なことです。生活や遊びの中でやってはいけないことを丁寧に教えていきたいと考えています。家庭でも特に心がけて頂きたいところです。

『絵本と保育』 ～「読み合い」から「読み聞かせ」へ～

活動や気持ちを切り替える時、園では絵本を多く使っています。絵本を使ってコミュニケーションを取り合う「読み合い」の経験を積み重ねていくと、子どもたちは大人に絵本を「読み聞かせ」てくれるようになります。なでしこ保育園パーシモンには「なでしこ文庫」があり、6月～2月の間、園児への貸し出しを毎週火曜に年少以上のクラス役員さんに手伝わってもらいながら行っています。この他に家庭でも絵本を楽しんでいただく為に（株）福音館の月刊誌をご購読いただいています。なでしこの図書活動を通して、大好きな大人が読んでくれる絵本が子どもに与える力を感じていただけたら嬉しく思います。

*なでしこ文庫開館時間

〈月～金〉15:00～17:30 〈土〉9:00～15:00

『遊び』

遊びは子どもの生活の大切な一部であり、学びの中心です。大人との応答的な関わりを十分受けることが、集団の中で十分に楽しんで遊べる力の基礎となります。満足するまで遊べる子どもにしたいと考えています。

〈0～2歳児〉

天気の良い日は戸外へ出て、砂・水遊びの経験をたくさんして、散歩を通して足腰を鍛え、しっかり歩けること・走れることができるようにしています。クラスには手作りの物をはじめ積み木やブロック等いつでも遊べるようにしてあります。

〈年少以上児〉

朝登園してからの時間を自由遊びの時間として、特に外遊びを中心に毎日活動を行っています。また室内でもじっくり遊べるよう玩具を充実させ、空いた時間は自分の興味のある遊びに取り組めるようにしています。

『体力づくり』

※教育費対象

《※保育時間内の外部講師による体操教室：年少～年長児》

身体づくりの基礎となる乳幼児期に身近な大人やお友達と楽しく体を動かし、転んだ時に咄嗟に手をつくことができる・危険な時にサッと避けることができる等「自分の身体を自分で守れる力」・「体幹や足腰をしっかりさせ、身体がふらつかない力」を身に付けられるよう、年少からは（株）ジャクバの外部講師による課内教室を実施しています。

*年中以上の希望者を対象に課外教室も行っています。時間や受講料などは別途お問い合わせください。

各園にあるブランコ、すべり台、鉄棒、うんてい、のぼり棒などの固定遊具の経験をはじめとし、散歩、駆け足、ボール遊び、縄跳び、マット運動、リズム運動等の活動を通して、がんばりのきく丈夫な身体を育みたいと考えています。

『生活習慣の自立』《しつけ》

自分で何でもしたがる時期をとらえ、大人が手を添えて自分のことが自分でできるようにしていくのが上手なしつけです。子どもの発達に応じ、園と家庭との連絡を密にし少しずつ自立できるよう細かな支援をしていきます。

『表現活動（音楽リズム）』

※教育費対象

幼児期は様々な感覚が分化し発達する時期です。乳児の頃から園生活の中でも音楽に合わせて身体を動かしたり、歌を歌うことを楽しんでいきます。特に耳の発達は4歳ですばらしく伸びると言われていますので、4歳を迎える年少からは外部講師（杉山由美子先生）を招き、音楽と身体を連動させる表現などを楽しみます。また年中からは鍵盤ハーモニカに取り組んでいます。楽しみながら指使い等も覚え、簡単な曲が弾けるようになり、クラスで音を合わせる楽しさも味わっていきます。年長の和太鼓や生活発表会での表現発表は、友達と音を合わせることで生まれる感動を皆で共有することも目的のひとつと考えています。

『造形活動』

「感じたこと、考えたことを自分なりにイメージして、ダイナミックに表現することを楽しむ」ことを基本として0歳児から取り組んでいます。子どもが自分なりの世界を広げられるような「きっかけ」を保育士が作り、子どもたちが表現を楽しめるようにしていきます。

紙の上の2次元の世界に3次元の空間を感じて絵として表現できたり、頭の中の形を目の前の粘土で再現できたら、その子は言葉以外の言語を持つことに等しい力を持てるかもしれません。子どもの可能性を広げるために、どの年齢でも発達に応じた造形活動を行っています。

【課外活動】*希望者のみ

お子さんが自由に選択して参加できる課外活動です。曜日や時間が年度によって変わることもあります。料金は別途お尋ねください

曜日	内容	主催	対象	どこで
月	スイミング	スウィン熊谷	第二（中・長）	第二なでしこ子ども園へバスで迎えにきてスウィンへ保護者迎え
火	学研	学研ひまわり教室	第二（少～長）	第二なでしこ子ども園（保育中に学研講師が実施）
木	新体操	（株）ジャクバ	年中・年長	第二なでしこ子ども園
	学研	学研ひまわり教室	第一（少・中）	なでしこ保育園（保育中に学研講師が実施）
金	体操	（株）ジャクバ	中・長	なでしこ保育園・第二なでしこ子ども園
	学研	学研ひまわり教室	第三（少）	第三なでしこ保育園（保育中に学研講師が実施）

『お作法』〈年長〉

※教育費対象

日本人としての精神的なゆとりを養い、伝統文化に接する喜びを味わうことや、対一の関係を大切にすることで、落ち着いて物事を理解したり、話をじっくり聴いて考えることができるようになることを目的としています。

作法の時間は、楽しく心地よいものと思えるように、月1回、こども園の和室にお茶の先生をお呼びし、少人数で行います。なでしこの大きな集団では見落としがちで、普段は大人の手を煩わせない子の小さな声を拾う場としても機能しています。

『もじ☆かずくらぶ』〈年少から〉

※教育費対象

就学までの期間に子どもたちの学びに向かう心と頭を育む幼児教育プログラムを取り入れました。

これは文字の練習を無理にさせたり、小学校の算数を前倒しで勉強させたりするプログラムではなく、年齢や月齢に合わせた楽しい内容でクラスみんなで「ことば遊び」や「かず遊び」を楽しみながら、少しずつ言葉を増やしたり、数や数字の楽しさを知ったり、ひらがなで書かれた言葉に興味をもったりする活動プログラムです。（株）新学社

『メディアとの付き合い方』

家庭でのテレビ、ビデオ、スマホ、タブレット等の視聴は乳幼児期はなるべく短時間にしましょう。スマホはまだ歴史が浅いので、子どもの心身への影響は正確には出ていませんが、良い影響は少ないと現場では感じています。なでしこでは保育の中での上記メディアの視聴は一切ありません。クラスでの生活はもちろんのこと、延長保育もすべて保育士や友だちとの人間関係を通しての遊びと生活です。

【年間行事予定】

- 4月 入園式、年長園外保育
 - 5月 参観日（懇談会・保護者会総会）、歯科健診、年長相撲大会
 - 6月 保護者会講演会、内科健診
 - 7月 七夕祭り、年長お泊り保育、年中年少保育参観
 - 8月 年長保育参観、二十歳の同窓会
 - 9月 祖父母参観
 - 10月 運動会、入園説明会、0～2歳親子ふれあい教室
 - 11月 秋祭り
 - 12月 年長クラス発表会、クリスマス会
 - 1月 1年生同窓会、6年生同窓会
 - 2月 節分、造形展、年長卒園遠足、観劇
 - 3月 お別れ会、演奏会（専門家による歌や楽器のコンサート）、保育参観・大掃除、卒園式
- ※諸事情により内容や日程が変更になる場合もあります

一年に一度「一日保育士体験」に参加していただけます。
 ☆ひとクラス一日ひとり枠
 ☆朝9時～夕方4時まで
 ☆保育士補助として子どもと過ごす

【集金（口座振替）】*金額は別紙参照

《個別に集金しているものは概ね以下の通りです》

- ・保護者会費 ・施設整備費 ・月刊絵本代
- ・主食費、副食費（年少以上）・教育費（年少以上）
- ・その他（体操服、保育材料等、状況に応じて集金）

《教育費って？》

年少以上になると、保育士では補いきれない専門性を外部講師の先生方にお手伝いいただいています。その外部講師料と材料費、備品維持管理費等を徴収させていただいています

《1号認定でも入園金はかかりません》

～保護者会から後援会へ～

保護者による3園合同の保護者会を設置し様々にご支援をいただいております。そんな保護者の皆様も卒園と同時にさよならではなく、希望の方は後援会という組織で引き続きご支援をいただいております。

保育園は子どもだけが楽しむ場所ではありません。お父さん、お母さんの一生の友との出会いの場でもと考えています。



～オリジナル体操服～*料金は別紙参照



年少以上児さんに購入していただけます。日常的に使っていただけます

～卒園してもなでしこの子～

1年生は毎年1月の土曜日に保育士（元担任）・と楽しい時間を過ごします。

6年生も1月又は2月の土曜日に同窓会を行います。そこで皆で持ち寄った物でタイムカプセルを作り、二十歳の同窓会で開けます。

担任たちも大きく成長した卒園児たちに会える同窓会を何より楽しみにしています。

【入所対象児】0歳児（生後8周～）

熊谷市福祉部保育課で保育認定（2号認定・3号認定）を受けたお子さんが入所できる児童福祉施設です。市外から希望される方は、お住いの市町村にご相談の上申請をしてください。1号認定（満3歳児）での入園をご希望の方は第二なでしこども園へ直接ご相談ください。

【保育時間】（2・3号認定のお子様）

保育標準時間認定		保育時間	延長保育時間	備考
平日	なでしこ保育園	7:00～18:00	18:01～19:00（有料）	各園
	第二なでしこども園			
	第三なでしこ保育園			
土曜日		7:00～16:00（なでしこ保育園にて）		3園合同保育

保育短時間認定		保育時間	延長保育時間	備考
平日	なでしこ保育園	8:00～17:00 のうちの8時間	1日の保育時間が8時間を超えると延長保育となります（有料）	各園
	第二なでしこども園			
	第三なでしこ保育園			
土曜日		8:00～16:00（なでしこ保育園にて）		3園合同保育

保育時間は上記の表の通りです。入園後、保育時間を通勤時間+勤務時間を基本に「保育時間申請書」を提出していただけます。入園当初は慣らし保育をしますので、状況の許す方は短縮保育で徐々に慣らしいきましょう。通常、正規の保育時間に子どもが慣れるまで1～2週間かけていきますが、保護者の勤務の都合上、入園当初から通常保育の必要な方は申し出てください。延長保育料に関しては別紙をご参照ください。

家庭保育室わらべは0～2歳（定員5名）で保育短時間認定のお子様ご利用できます。保育時間は8:30～16:30（土曜休み）となります

【保育時間】（1号認定のお子様）

	1号認定	教育時間	預かり保育時間	延長保育時間
平日	第二なでしこども園	9:00～13:00	13:00～15:30	15:30～18:00

保育時間は上記の表の通りです。預かり保育・延長保育ともに有料となります。料金は別紙をご参照ください。

【休日・休園・土曜協力日・協力保育】（2・3号認定のお子様）

- (1) 休日・休園について
 - ・日曜、祝日はお休みです
 - ・12月29～1月3日は年末年始休みです
 - ・入園式の日は、在園児はお休みになります
- (2) 土曜日は協力日とさせていただきます
 - 職員の勤務時間を調整する為、土曜保育の必要な方のみ保育いたします。保育希望の方は「土曜保育勤務証明書」を提出していただけます。但し、秋祭り、造形展、保育参観、育児教室等、土曜日に必要に応じて親子での参加行事を行うこともあります。
- (3) 職員の研修や休暇を確保する為、次の期間を協力保育期間として、仕事の都合で保育の必要な方以外はお休みのご協力をいただいております。（日程は年度によって多少ずれがあります）
 - 《協力保育期間》日程は年度によって多少ずれがあります
 - ・7月下旬に5日程度 ・8月中旬に10日程度
 - ・年末年始 ・3月末～4月入園式前日迄

【休日・休園・土曜協力日・協力保育】（1号認定のお子様）

- (1) 休日・休園について
 - ・土曜、日曜、祝日はお休みです ・12月26日～1月上旬は年末年始休みです
- (2) 上記《協力保育期間》はお休みとなります